



ご自由にお持ちください

日本赤十字社

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど

2016.4
Vol.25

平成29年1月から運営予定 院内保育所の建設が始まっています



今年の2月より、かねてからお知らせしていた新棟（院内保育所、事務室などが入る建物）の工事が始まりました。事前準備に時間がかかりましたが、ようやく着工までこぎつけました。

入院されている皆様及び来院される皆様には、騒音がしたり、一部通行にご不便をかけたりとご迷惑をおかけしていますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願ひします。

◀ 新棟の完成予定イメージ。1階に保育所、2階に事務室などが入り、病院と渡り廊下でつながります。

院内保育所について

昨今、保育所が不足しているという報道をよく耳にするようになりました。働く人にとって、子どもを安心して預けることができる環境は重要です。

当院の保育所は、24時間子どもを預かります。対象は当院職員のみであり、一般の方はご利用できません。しかし、職員が安心して勤務できることが、患者さんへの切れ目のない医療・看護につながる大事なことと考えています。

工事の進捗状況と予定

現在（3月17日時点）、建設予定地の車庫や駐車場・駐輪場が解体され、ほぼ更地になっています。

4月からは本格的に新棟増築工事が始まります。始めに、新しい建物の位置確認を行い、4月中旬から杭打ち工事、続いて基礎工事になります。

5月下旬から鉄骨工事が始まります。この工事が始まると徐々に新棟の形が見え始めます。7月以降は渡り廊下の形もできてきます。

その後様々な工事を経て、10月いっぱい新棟と渡り廊下が完成します。新棟2階に事務室等が移動するのが11月、1階の院内保育所がスタートするのが平成29年1月の予定です。



解体スタート時（平成28年2月18日）



解体完了時（平成28年3月17日）

「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

検査

いろいろ

その1



腹部超音波検査



臨床検査技師
佐藤 多佳子

腹部超音波検査の仕組み

腹部エコー検査とも呼ばれ、人間の耳には聞こえない高周波の音波をお腹に当てて、その反射をコンピューターで映像化します。この検査のよい点として、苦痛を伴わないことやX線の被爆がないことが挙げられ、体への負担が少ない安全な検査と言えます。当院では、医師と臨床検査技師が検査を担当しています。

検査でわかること

肝臓や胆嚢、膵臓、腎臓など様々な臓器とその周辺の異常を調べることができ、腫瘍や炎症、



結石などがあると周りとのコントラストが生じて画面上で確認でき、その場で大きさも測れます。また、臓器内の血流の様子をカラーにして映し出すこともできます。

検査を受ける時の注意

検査当日は朝食を取らずに来てください。食事をすると胆嚢から胆汁が出てしまい、胆嚢が収縮して観察ができなくなったり、腸管に空気が貯まり、他の臓器のはっきりとした画像が得られなくなったりしてしまいます。



おたより

皮膚・排泄ケアって何？

皮膚・排泄ケア看護は、別名WOC(ウオック)看護ともいいます。Wは創傷、Oはオストミー(人工肛門・人工膀胱を造られた方)、Cはコンチネンス(失禁関連)の頭文字をとった当て字で呼ばれています。もとは、人工肛門の周囲のただれに難儀する患者さんのためにいろいろと工夫し、皮膚のお手入れを行った方法が創傷や失禁ケアに共通していたからと言われていました。

皮膚・排泄ケア認定看護師として

2009年に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得し、現在は褥瘡(床^{じよくそう}ずれ)管理者として組織横断的に働いております。病院内のあっちこちに行くと、褥瘡や褥瘡になりやすい部位、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)を見せていただき、患者さんのためにスタッフと一緒に皮膚の状態を検討し、最良のケアを提供するのが私の仕事です。

皮膚のただれや褥瘡は、一度発症すると治るまでには時間がかかります。そこで必要となるのが予防です。ケアを必要とされる患者さんやご家族をスタッフと共に支えていけるように頑張っています。



82



From

看護部付看護係長
小松 恵智子

Echiko Komatsu

Profile

出身地

秋田県横手市

好きなこと

ビールを飲む
温泉につかる